

会議記録

●会議名 令和5年度 第1回丹波市社会教育委員の会議

●日時 令和5年5月29日（月）14：00～16：30

●場所 氷上住民センター 大会議室

●出席者 別添「出欠票」のとおり

●内容

1 開会（社会教育・文化財課長）

2 あいさつ（議長・教育部長）

3 職員紹介（別紙名簿）

4 役員選出

（1）丹波アートコンペティション実行委員会委員の選出
⇒梅垣真紀委員を選出

（2）丹波市教育振興基本計画策定審議会委員の選出
⇒高橋典子委員を選出

5 報告事業

（1）令和4年度社会教育事業について
・各担当課長から説明

【質問・意見】

議長	地域学校協働活動推進員の配置促進について課題は何ですか。
社会教育・文化財課長	地域学校協働活動推進員配置の必要性が十分に伝わっていないことが課題だと考えます。未配置の地域や学校にその好事例の紹介や事業周知を行います。
委員	TAMBAシニアカレッジの参加者が少ないのはなぜですか。
市民活動課長	コロナ禍で参加が少なかったこともあります。また、オープン講座として誰もが参加できるようにしました。

	が、ワークショップや話し合いを取り入れたため、受講をためらわれた方があった可能性があります。
委員	たんばふるさと学について、各学校の取り組み状況をまとめたものはありますか。 地域学校協働活動推進員が配置されている学校における学校支援コーディネーターの活動はどのようになっていますか。
次長兼学校教育課長	たんばふるさと学の各学校の全ての取り組みや、学校支援コーディネーター全員の活動内容までは把握できていません。 学校に大きな負担を掛けないような集約方法を考えてみたいと思います。
委員	たんばふるさと学の取り組みは、地域の方が学校と関わる入り口になり、地域との協働の接続になると思います。地域学校協働活動推進員が学校支援コーディネーターの活動内容を学校に聞き取る等し、地域学校協働活動推進員協議会の際に共有することもできると思います。
議長	たんばふるさと学の取り組みの集約について検討してください。
委員	スポーツ施設管理事業について、体育館の倉庫内の器具や道具が整理できていない施設があります。
次長兼文化・スポーツ課長	各施設、順次確認いたします。
議長	芸術文化団体の育成事業について、若年層に興味を持ってもらうことが課題とありますが、各団体間の横のつながりの中で何か対応策に関する話は出ていますか。 また、会員獲得について困っている団体の相談窓口はどこですか。
まちづくり部長	年配の方を中心に構成された団体が多く、働き盛りの年代の方に入会していただくのは難しいと聞いています。団体間での情報共有はされていますが、若年層にどのようなアプローチができるのか、考える必要があると思います。 各団体からの相談窓口は、文化・スポーツ課の芸術文

	化係になります。
議長	困っている団体を支援する部署が必要だと感じていますので、よろしくお願いします。
委員	オペレーター養成講座を修了された方が次に活動される機会がありますか。 また、その活動の機会はボランティアになるのでしょうか。
まちづくり部長	オペレータースタッフ ZERO-IVに加入し、活動していただいております。市の事業では、費用弁償をお支払いしています。アマチュアアーティスト育成支援事業では、実行委員会が謝金をお支払いしています。
議長	図書館ボランティア等も含め、ボランティアとして養成された方の活躍の場を提供できるよう配慮していただきたいと思います。
委員	三ッ塚マラソンは令和6年度実施されると聞いていますが、もみじマラソンはどのような状況ですか。 また、1つの市に2つのマラソン大会がありますが、市としてどのように考えていますか。
次長兼文化・スポーツ課長	もみじマラソンは実行委員会が弱体化していることもあり、開催の可否について十分な協議ができていない状況で、令和6年度の開催は困難だと思います。 それぞれの実行委員会の判断が優先されると考えており、大会を開催されるならば市として支援を行います。
委員	丹波市も主催者だと思いますが。
次長兼文化・スポーツ課長	実行委員会と丹波市が主催であり、市の役割として、交通安全の対策や市有施設の利用等、市でなければならない分野を担っています。
委員	スポーツクラブ21は兵庫県から補助金をいただき活動していますが、活動できていないクラブがあることについてどのように考えていますか。
次長兼文化・スポーツ課長	解散ではなく、活動休止状態はやむを得ないと考えています。丹波市スポーツクラブ21連絡協議会において活

	動再開に向けた調整を進めたいと考えます。
議長	中学校の部活動地域移行について、県レベルではスポーツクラブ21が部活動の指導を担うことも検討されているようですが、丹波市においてはいかがですか。
次長兼学校教育課長	前年度は検討委員会を3回開催し、丹波市スポーツ協会に相談したところです。スポーツクラブ21も指導者の候補の一つではありますが、現時点でスポーツクラブ21には相談していない状況です。 国・県の方向性もはっきり示されていませんので、中学校や他のスポーツ団体と調整しながら進めていきたいと考えています。
議長	人権学習の講師の選定はいつも苦勞されていると思いますが、様々な人権課題について順番に取り組んでいるのですか。
人権啓発センター所長	各種人権課題についてその時々話題性等も考慮し、県や他市町の情報を得て講師を選定しています。 人権セミナーは、隣保館運営委員会の意見も伺いながら、その時々の人権課題と組み合わせて実施しています。
議長	人権課題もたくさんあるので、計画的に実施してください。

(2) 令和5年度社会教育事業計画について

・担当課長から説明

【質問・意見】

委員	前年度の社会教育委員の会議において尋ねたことですが、公園の遊具が傷んでいることについて、点検も含めその後の対応はどのようになりましたか。
まちづくり部長	市が管理している公園は市が遊具の点検を実施していますが、自治会等が管理されている公園は把握できていません。 令和4年度から3年間、自治会が遊具の改修をされる場合の補助を行っており、子育て世代の方と自治会が話し合う機会を設けていただきたいと考えます。

委員	e スポーツは高齢者も取り組めると思います。e スポーツのことは丹波市の教育（実施計画）に記載されていますか。
社会教育・文化財課長	25 P の高等学校の魅力化の部分に記載しています。
委員	電子図書館の取り組みは良いことだと思っています。提案ですが、地域に根差した資料や、地域資料について研究された内容を図書館で閲覧できるように取り組んではいかがですか。 また、古文書をデータ化して図書館で保管してはどうでしょうか。
社会教育・文化財課長	丹波市ならではの地域資料は残していかなければならないと思っており、古文書等はデジタル化することも考えていかなければならないと思っています。
委員	宗教 2 世のことや、人権と宗教のことは今日的な課題だと思います。行政として踏み込めない分野かもしれませんが、取り上げていただければと思います。
人権啓発センター所長	宗教 2 世のことは大きく捉えれば子どもの人権になると考えます。広く現代的人権課題として研究したいと思っています。

6 協議事業

(1) 令和 5 年度社会教育関係団体補助金について

・担当課長から説明

⇒ 2 団体とも提案のとおり承認

(2) 丹波市の社会教育委員の会議の研究テーマについて

・事務局から提案「社会教育における子どもとの学び」

【質問・意見】

事務局	教育基本法や社会教育法において、「家庭教育」の分野が位置付けられています。 子どもの育ちに関わる大人の学びをどのように深めていけばよいのかという観点から、家庭の中の教育だけにとらわれず、社会教育委員の皆様で研究いただきたく、
-----	--

提案させていただくものです。

議長

このテーマは、1年間で取り組むのは難しいと思うので、2年間かけて取り組んではどうでしょうか。

委員

中高生で思春期を迎えている子どもの親で、気持ちを広く持つ余裕がなく、悩んでいる方が私の回りにいらっしゃる。

子どもが不安になっているのと同じように、親も不安になっている。そんな子どもたちの精神的な支柱になるようなものを作りたいと思う。

悩んでいる子どもが精神的に楽になれるよう、親がどのように声を掛けたいのか、親自身の勉強の場を増やしたいと思います。

議長

今のご意見を伺って各委員の考えは広がったのではないのでしょうか。このテーマのまとめ方も難しいものと思います。

委員の中には、それぞれの立場で子どもに関わっていらっしゃる方がいますので、一度協議を始めてみましょうという提案です。

委員

テーマの幅が広いため、收拾がつかなくなりそうです。0歳児の親から18歳の親や、社会的養護が必要な子どもの親では、悩みが異なると思いますが、このテーマで取り組んでみたいと思います。

議長

社会的支援の話や、福祉系の話にもなると思います。社会教育委員として協議してみてもいいのではないでしょうか。

委員

このテーマで協議することに賛成です。

子どもをとりまく状況は情報過多で、親もどの情報を取り入れたらよいか難しいと思います。その中で命の大切さについて考え、社会教育委員として協議できればいいと思います。

委員

研究①・研究②までは、これを行うことで見えてくるものがあるのではないかと思います。そこから研究③「子どもとの学びについて」というテーマで課題が見えてくるか分かりませんが、協議を行う中で地域特有の課題が見えてくるかもしれないと思います。

議長	先日開催された社会教育委員の会議のオフミーティング（まなびカフェ）の際に、今年度の研究テーマに「家庭教育」はどうかと尋ねたところ、本当に家庭教育でいいのかという話になり、家庭での問題なら、誰の責任？父親の責任？母親の責任？という疑問も投げかけられました。親だけでなく保護者や地域の大人はどう関わればいいのかということも考え、研究テーマを「社会教育における子どもとの学び」として本日提案させていただきます。
委員	市の家庭教育計画について意見具申するのですか。
議長	市への提言ありきでテーマ研究するものではありません。
委員	学校や地域では、それぞれどのように子どもが育って欲しいのか、考えが異なると思いますが、子どもに対してバラバラな指導をしてはいけないと思います。 社会教育委員であり、地域の住民として勉強できればと思います。
委員	研究の範囲が広いので、もう少し絞ってスタートしなければと思いますが、まずはスタートして、見えてくるものもあると思います。 皆さんの思いがあるので、簡単なところから協議をスタートしてはどうでしょうか。
委員	小学校低学年から高学年までの児童を対象にした事業を実施していますが、親の考えが異なるため、幅広い年齢の子どもに対する事業は実施が難しくなっています。
委員	コロナ禍を経て、親も子どもも保守的になっており、今の子どもたちは生きにくい時代を生きていかなければならないと思います。 未来に向かって、10年先に役立つ意見が出ると思うので、このテーマで研究できればと考えます。
委員	丹波市の子どもたちをとりまく現状が少しでも良くなるよう、幅広いテーマではありますが、社会教育委員として協議を行ってはどうでしょうか。

議長

今年度の研究のテーマは、「社会教育における子どもとの学び」として協議していきたいと思います。ご協力をお願いいたします。

7 その他

(1) まなびカフェ（オフミーティング）について

- ・グループLINEにて出席可能な日程を入力してください。

(2) 地域学校協働活動に関する現状調査（推進員へのヒアリング同行）について

- ・社会教育に取り組む団体が実施する取り組みへの同行を考えています。もう少し内容や日程が具体的になれば、改めて提案させていただく。

(3) 全国・近畿・県等関連行事

- ・それぞれ日程と会場は決まっており、県から詳細通知が届き次第、社会教育委員の皆様にご案内する。
- ・11/29 開催の兵庫県社会教育研究大会では、丹波地区で分科会を担当することになっている。事例発表や司会、記録等の役割を丹波篠山市と丹波市で調整のうえ分担することになる。

(4) 各課からの連絡事項

- ・案内チラシにより各種事業を紹介

8 閉会（副議長）